

### 令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	リニア中央新幹線開通時の観光誘客に繋げるための受入体制・流通環境整備事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 長野伊那谷観光局 (事務局：上伊那広域連合内 電話：0265-98-8451)
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト ハード
総事業費	7,761,760 円 (うち支援金：6,209,000 円)

#### 事業内容

- 情報発信力強化事業
  - 情報発信戦略会議の運営と戦略づくり (会議 6回)
  - SNS などを通じた情報発信を推進するための動画制作講座の開催 (4回)
  - 公式 Web サイトのブランディングページの制作 (3本)
  - 公式 Web サイトのトップページにおける流入窓口の新設 (G I F 画像イラストの組込み 3本)
- サイクルツーリズム受入体制強化事業  
上伊那周遊ルート、マップの作成と検証、ガイドスキルアップ研修の実施 (研修・WS 2回、試走 4回、意見交換 2回)
- インバウンド商品造成販売促進・受入体制整備事業
  - インバウンド WG による商品造成と戦略づくり (WG 5回、商品造成 2つ)
  - インバウンドの受入対応可能な「宿泊施設」の抽出及びリスト化と商談会での活用 (抽出 30 施設、リスト化 16 施設)
  - 販売促進強化のためのセールスプロモーションの展開 (個別商談 4 社、VJTM 商談 31 社)



【SNS 動画制作講座の様子】

#### 【目標・ねらい】

2027 年リニア中央新幹線開業を見据え、観光をきっかけに国内外の交流・関係人口の増加を目指し、官民協働の地域づくりを目的とする。  
観光事業の中核となる地域内の人財の育成、観光情報の発信、商品造成をはじめとする受入環境の整備、そして流通環境整備及び実売に繋げる取り組みによって国内外の誘客を図る。

#### ※自己評価【 B 】

【理由】地域住民の参画を促した効果的な情報発信方法への取組み、サイクルツーリズムに係る受入環境整備とガイド養成、インバウンド向け宿泊施設情報の整理と商品販売促進などを行い、次のステップである流通環境整備や実売に繋がる事業となった。

#### 事業効果

- (情報発信力強化事業) 動画制作講座では受講者の撮影技術向上はもとより地域の情報発信者のネットワークづくりの場となり、ブランディングページ制作では具体的な旅の提案としてイメージ喚起を図り、トップページにおける流入窓口の新設では G I F 画像を既存の特集・体験ページとリンクさせることで更新頻度が増し、アクセス数の増加に繋がった。
- (サイクルツーリズム受入体制強化事業) 地域の方による幅広い意見交換を基に「地域の方が伝えたい、けれどもサイクリスト目線」という魅力ある上伊那周遊ルート (マップ) が仕上がった。また、ガイド研修の面では実践を重視したライディングスキルが確実に上達した。
- (インバウンドWG) マーケティング・プロモーションの根幹に係る議論によって今後の活動展開が期待され、宿泊施設調査では各市町村等も把握していない内容であったことから大きな成果となり、セールスプロモーションでも活用された。今後は商談先へのフォローアップ等により、有効なセールスプロモーションが期待されます。

#### 今後の取り組み

今後も、「リニアバレー構想実現プラン基本方針」の位置づけに対する役割を果たすため、地域の伝統や文化を大切にしながら健康で安心して暮らせる持続可能な観光地域づくり (観光による地域経済と雇用の活性化及び移住・定住の促進「住んでよし、訪れてよし」) に取り組み、観光局を地域と観光客を繋ぐプラットフォームとして、多様な関係者の参加のもと、官民一体となった観光地域づくりを推進する。

これまで取り組んできた国内外への観光情報発信をはじめとする誘客活動を強化するとともに、流通環境の整備や実売に繋げる取組みを行う。

また、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道開通、松本空港の国際化等を見据え、上伊那全体をひとつの観光エリア「INA VALLEY」と位置付け、南信州、木曾地域を加えた複数の広域圏を結ぶ多面的な広域観光を推進していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)